

1. 背景・目的

- 令和元年度の検討を踏まえて、引き続き、都市公園包括管理に関するプラットフォームを運営。
- 時代・都市構造の変化とともに設置当初の目的を果たせなくなっている低未利用の公園機能の転換、公園・植樹帯等の維持管理業務の合理化といった泉大津市の取組課題に対して、民活による包括的な課題解決方を模索するものである。
- なお、低未利用の公園（令和元年「泉大津市公園整備マスタープラン」において位置づけを整理）の機能転換については、今年度農園等の活用に焦点を当てた検討を実施。農園等の機能導入については、ウィズコロナ・アフターコロナにおける泉大津市内の公園の新たな活用形態の可能性を拓き、より豊かで安心・安全な市民生活に寄与するストックの有効活用を促進することを目指している。

2. 事業概要

対象テーマ	・官民連携による、低未利用公園の農園等活用に関する検討及び公園・植樹等の一体的な管理運営
プラットフォーム機能	・低未利用の公園における農園機能導入の可能性検討に関する民間事業者との協議・調整の場 ・公園・植樹等の一体的な管理運営に関する民間事業者との協議・調整の場 ・上記協議・調整を踏まえた包括的な民活の推進

3. 地域プラットフォームの取組概要

①公園の農園等活用に向けた検討

緑環境の整備運営や農園事業等を手掛ける民間事業者との対話を通じて、低未利用公園の農園等活用に向けた関心・事業要件等の検討をおこなった。

②公園・植樹等の一体的な管理に関する検討

緑環境の整備運営や農園事業等を手掛ける民間事業者との対話を通じて、現在個々個別に業務委託を行っている公園（市内76公園）及び植樹帯等の管理運営に関して、業務発注の合理化、管理水準・費用等の最適化を実現する一体的な業務委託の可能性について検討をおこなった。

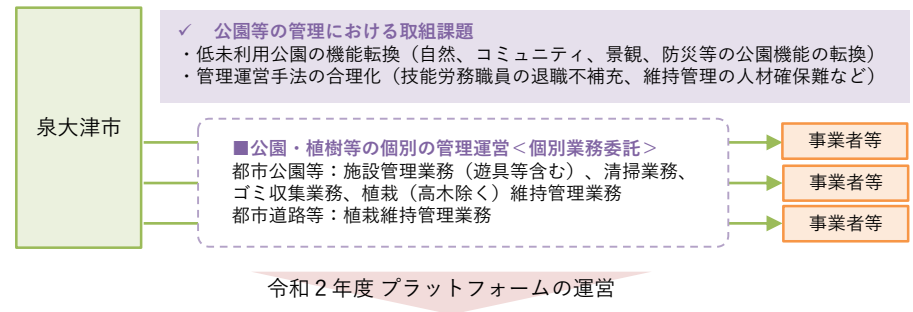
③公園・植樹等の一体管理及び公園の農園等活用調査の包括的な取組推進

上記①・②を踏まえ、実現可能性に応じた包括的な取組（事業者選定による包括業務委託）を推進した。

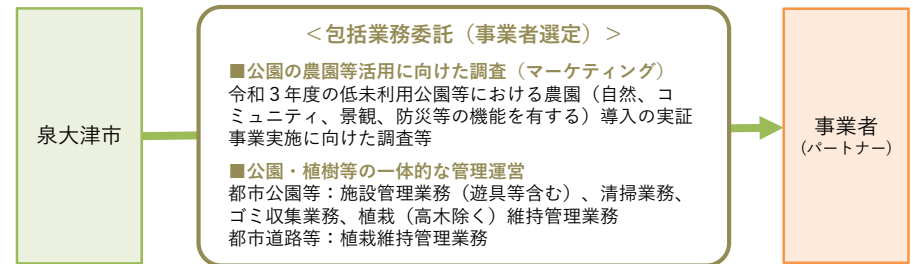
4. 取組成果

- 民間事業者との対話により、今年度適地や事業収支のスタディ等を検討し、次年度実証的に始めていくことを要件として、未利用・低未利用の公園に農園機能を導入することに対する関心を得られた。
- 民間事業者との対話により、公園・植樹等の包括管理について、既存の個別委託者との円滑な引継ぎ・調整が行われることを要件として、公園・植樹等の包括管理を実施できる見込みを得られた。
- 上記の状況から、令和2年度下期より、公園の農園等活用に向けた調査等及び公園・植樹等の包括管理の業務委託を実施することとし、公募により委託事業者を選定。

（従前）公園等の管理における取組課題の顕在



（令和2年度末時点）政策課題解決に向けた包括的な取組の推進



※現在は半年度での包括業務委託。次年度以降の実証により、複数年の包括業務委託を行うことを想定。

5. 今後の活動計画

- 引き続き、公園の農園等活用及び公園・植樹等の一体的管理の包括的な委託を実施予定。
- 令和3年度の包括業務委託内で、「宇多1号公園（未開設）」を対象地とした農園機能導入の実証事業を実施予定。その結果を踏まえて、令和4年度以降の市内他適地等における農園機能導入の横展開を目指す。